

Cancer

PRESENTED BY AMERICA'S PHARMACEUTICAL COMPANIES

がんとの闘い 395 種の抗がん剤が開発中

現在、395 種類の抗がん剤が開発されている。その多くは、がんを叩くためのハイテクを使用した新兵器であり、また、現在使用されている医薬品を違った方法で使用するその方法を研究している。闘いに臨んでいるのは、製薬会社、バイオテクノロジー企業 181 社と米国立癌研究所だ。

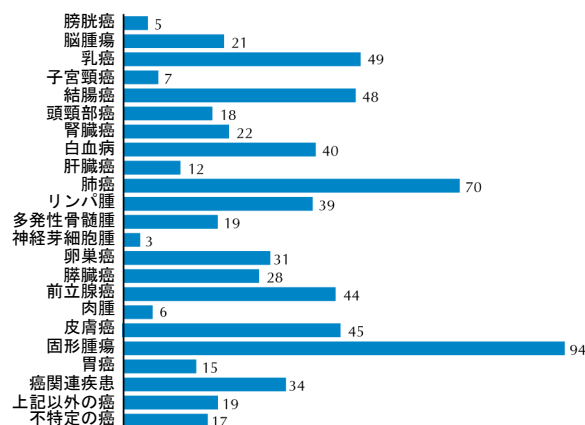
開発中の薬剤は、現在、臨床試験中か食品医薬品局（FDA）の審査のいずれかにある。米国では死因の 1 位にある肺がん治療薬 70 種類、2003 年に 20 万人の米国女性が罹患すると予想されている乳がんの治療薬 49 種類、米国では男女とも死因の 3 位に数えられる大腸がんの治療薬 48 種類、今年 2 万 9 千人の米国男性が死亡すると予測されている前立腺がんの治療薬 44 種類がある。このほかに癌用薬剤 44 種類（今年、米国人男性 2 万 9,000 人が死亡すると予測）が開発中である。この他に、肝臓がん、膵臓がん、脳腫瘍、皮膚がん、卵巣がんを標的とした抗がん剤が開発中である。さらに、がん患者のクオリティ・オブ・ライフ（QOL）を改善させるための薬の開発にも取り組んでいる。

こうした製薬企業が過去 10 年間がんという疾病に対して取り組みを著しく進歩させ、そしてその努力はさらに加速されている。こうした努力が実り、がんの罹患率やがんによる死亡率は減少していった。“Journal of the National Cancer Institute”によると、1990 年代には、罹患率が上位 10 位にあるがんのうち 8 種類のがんで死亡する人の数は、横ばいか下降傾向にある。このような心強い統計データが出たことで、私たちはがんとの闘いに最後には勝利する、との期待感が生まれている。ニューヨーク市のメモリアル・スローン・ケッタリング癌センターのレオナルド・サルツ博士は、「われわれはホームランでいきなり成功を手にするのではないかもしれないが、シングルヒットを積み重ねることでスコアに点を入れることはできる」と述べている。

製薬会社とバイオテクノロジー企業は最先端の技術を駆使して開発された抗がん剤を患者のもとに届けることでがんとの闘いに進展を見せた。例えば、以下のような薬剤が開発されている。

- 癌細胞の成長を促す化学信号を阻止する画期的な薬剤。慢性骨髄性白血病の治療に使用される。
- 非ホジキンリンパ腫細胞を退治するモノクローナル抗体
- ある種の乳がん細胞の成長に関わる成長因子を阻止する薬剤

開発中の抗がん剤*



* 2 つ以上のカテゴリーに分類されている薬剤もある。

現在、開発のパイプライン上にある薬の多くは、がんとの闘いに新しいアプローチや技術を用いている。例えば、以下のようなアプローチが採用されている。

- 膵臓がん治療薬。癌細胞の増殖を促す経路をブロックする。
- 肺がん治療薬。ある種のたんぱく質が生成されるのを阻止し、細胞の異常増殖にストップをかける。
- サソリから抽出した成分を合成し、それを直接脳腫瘍細胞に伝える薬剤
- メラノーマに対して強力な免疫作用を誘発するように開発された薬剤

こうしてがんとの闘いに着実な進歩は見られるものの、以前として心疾患に次いでがんは米国民の死因第 2 位となっている。今年 55 万 6,500 人の米国民ががんで死亡するものと見られる。これは 1 日当たり 1,500 人以上の人が亡くなるという計算になる。何百種類もの抗がん剤が現在開発中であるということからも分かるように、製薬会社の新薬開発こそががんの犠牲者を食い止めることのできる我々の最大の希望なのである。

Alan F. Holman

PhRMA 理事長
アラン F. ホーマー